

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-181
研究課題名 人工呼吸器関連イベントサーベイランス導入の試みと人工呼吸関連事象発生の調査研究
研究期間 西暦 2014 年 6 月（倫理委員会承認後）～ 2015 年 12 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録内の記録、データ _____ ）
上記材料の採取期間 西暦 2010 年 1 月～ 2014 年 12 月
意義、目的 2013年1月、米国疾病予防管理センターの全米医療安全ネットワーク(以下 CDC/NHSN)から人工呼吸中のイベントをサーベイランスできる Ventilator-Associated Event surveillance(以下 VAEs)が公表された。このサーベイランスの利点として、1.入力フォームが定まっているため情報収集を簡便とすること、2.主観的な情報より客観的な情報に重点を置いているため判定の精度が期待できること、3.人工呼吸器関連肺炎の判定には様々な基準がありゴールドスタンダードが存在しない現状であり、VAEsは様々な判定法の統一化を図るために普及が期待されていること、などから東北大学病院集中治療部(以下 ICU)で導入が決まった。しかし VAEs に関する本邦での運用については、日本集中治療医学会において人工呼吸関連事象検討委員会が最近立ち上がった状況であり、今後、多施設からの運用に関する報告、検証を俟たれる現状がある。 本研究は、CDC/NHSNで推奨する VAEs が ICU において運用が可能か後ろ向きに検討を行い、VAE 発生率、ICU において人工呼吸管理中の呼吸不全の原因を明らかにすることが目的である。
方法 東北大学病院集中治療部において、2010～2013年に当院集中治療室において48時間以上人工呼吸管理を受けた18歳以上の患者で以下の基準に適合する患者とする。また2014年度においても継続し調査を行う。 CDC/NHSN surveillance definition algorithm に沿った対象選出 ① 18歳以上の患者 ② 気管挿管され人工呼吸管理を3日以上受けている患者 ③ 高頻度振動換気法、体外式膜型人工肺中の人工呼吸管理は除外する 対象患者について以下の項目の調査を行う。 A) 患者背景 ① 年齢、性別、診療科、主病名、術式 ② 気管挿管から抜管までの期間、ICU 滞在日数、転帰 ③ 呼吸不全の成因 B) VAEs 調査項目 ① 人工呼吸器設定(吸入酸素濃度、呼気終末期圧) ② 体温 ③ 白血球 ④ 使用抗生剤種類 ⑤ 喀痰グラム染色結果、喀痰培養結果

C) 調査入力時の問題点(自由記載)

データは ICU 部門電子記録（日本光電社製：Prime GAIA）、ならびに病院臨床診療情報システム（富士通）から上記の情報収集を行う。データは ICU 内にあるスタンドアローンのコンピュータで匿名化処理を施し、個人が特定できないように管理を行う。

問い合わせ・苦情等の窓口

東北大学病院集中治療部      斎藤 浩二      工藤 淳

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL:022-717-7691

FAX :022-717-7721